

## ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：石井利男、岡元正史

日本の鉄道の駅舎は、9,909駅。その半分以上が無人駅だそうだ。

「有形文化財駅舎」は、門司港駅、旧大社駅、東京駅丸の内駅舎の3駅。

● 鹿児島本線の起点の**門司港駅**（旧門司駅）

は、明治24（1891）年4月1日開業。木造の西洋式建築（写真）。関門鉄道トンネルが開通するまで、本州と九州を結ぶ関門連絡船の駅で今もホームと港をつなぐ連絡通路跡が残る。



● **旧大社駅**は、明治45（1912）年6月1日開業。国鉄大社線の駅舎で、出雲大社を模した和風建築。1990年にJR大社線の廃線に伴って廃

駅となったが、今も駅舎は「近代化産業遺産」として保存されている。

● **東京駅丸の内駅舎**は、大正3（1914）年12月20日に開業した。

● **青函連絡船と青函トンネル**。戦前から青函トンネルの構想はあったが、実現に動き出したのは、昭和29（1954）年に起こった日本海難史上最悪の洞爺丸事故。この事故を題材に水上勉は小説「飢餓海峡」を執筆した。

青森駅と函館駅で青函連絡船に乗り換えていたが、青函トンネルの開通（1988年3月13日）により鉄道で繋がった。竜飛海底駅と吉岡海底駅が保守・避難施設として作られて、開通当時は下車して見学できたが、今は列車は停車しない。

● **上越線の土合駅**。川端康成「雪国」の書き出し《トンネルを出るとそこは雪国だった》。当時の上越線は単線。その後、複線化に伴って新清水トンネルが開通（1967年）。清水トンネルが上り線、新清水トンネルが下り線になった。

谷川岳登山口の土合駅の下りプラットホームは地下70メートル。462段（長さ338m）の直登階段で下車したホームから改札まで約10分。登山ブームの頃は、ぞろぞろと登山者が列を作って降り立っていた。1日の乗降客は20人弱の無人駅だ。

● **沖縄都市モノレール線「ゆいレール」**。

日本最南で沖縄唯一の鉄道（2003年8月10日開業）。駅は見晴らしがいい高架。占領下の沖縄を舞台にしたアメリカ映画（京都で撮影）の「八月十五夜の茶屋」

（The Teahouse of the August Moon, 1956年）。ベルリン国際映画祭の金熊賞を受賞。主演はマーロン・ブランド（なぜか日本人の役）と京町子。映画評論家の淀川長治氏が役者として出演している。旧暦8月、特別電車でオリオンビールと泡盛、琉球料理を楽しみながら、高架駅から南国ウチナーの名月を堪能した。新幹線の延伸により寝台列車（観光列車を除いて）、旧駅舎が消えるのは寂しい。

**3月の定例会** 参加者は、7日（木）13名、8日（金）12名でした。

**4月の定例会** 4日（木）、12日（金）です。